

陽

だ

ま

り

通

信

NPO 法人 陽だまり

〒506-0059 高山市下林町 966-1
電話 0577-36-6520 (FAX 兼用)

ホームページ [https:// gh-hida.jp /](https://gh-hida.jp/)

グループホーム陽だまり高山市

検索

自立支援や重度化防止に貢献したい思い

2000年4月から、介護保険制度はスタートしましたが、指定を受けて事業を行います陽だまりは、お陰様で2002年3月のグループホーム開所から20年が経過いたしました。

「グループホーム」という事業の種別は、地域支援事業や居宅サービス・施設サービス・地域密着型サービスと色々な保険給付サービスがある中で、地域密着型サービスに分類され「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」という種別です。

この「認知症対応型共同生活介護」の介護保険制度上の基本的な考えは、「要介護者であって認知症であるものについて、共同生活住居において、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにするものでなければならない。」とあります。

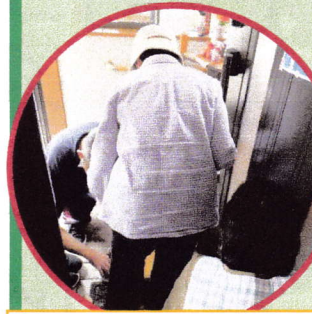
陽だまりは、この基本方針に則り、加齢等で認知機能が低下し、自宅で自立した生活が困難になられた方に、一旦自宅を離れてご入所いただき、地域の方とも交流しながら、仲間やスタッフと共に過ごしていただきながら自立した生活を取り戻してもらいたいとの思いから、職員一同が精一杯お手伝いをさせていただいています。

グループホームという9名定員の極々小さな場所は、集団療法的な機能が自然と起こるのか、利用者の皆さんが毎日周りを見ながら動いて(生活して)くださるので、一体的にまとまった空間ができ上がっています。

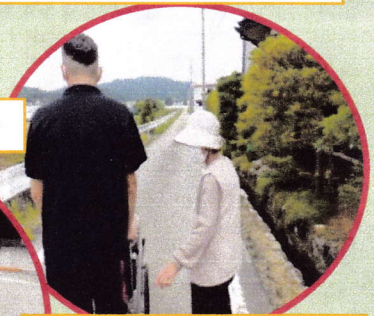
昨今は、高齢化の影響で膨らむ医療費の削減等で、状態の重い人が病院から地域に移り、介護も医療と連携しながら看取りまでを視野に入れる流れとなってきております。大きな介護事業所等では、終末期に備えて看取り加算を得ながら、寝たままとなられても楽に過ごしていただけるハード面や医療と介護が連携するというソフト面が整えられています。ご自宅での生活でも、終末期に係るサービスがご利用できるようになっています。2025年団塊世代が75歳以上を迎える年に向かい認知症の方も増えるとも言われており、そんな中で介護をさせていただいておりますが、陽だまりは、20年の経験やまとまり生活することを大切に、自立して元気に動ける時間が長く続くよう、これからもお手伝いをさせていただきたい思いがあります。

散歩を、いつも楽しんでくださいます。

利用者さんの希望を聞いて、天候の良い日等行ける日はなるべく散歩に出かけます。ホーム内では、自立歩行されても、心臓疾患等心配のある方等は、車椅子を使用しながら、出かけてみえます。



玄関で靴を履き替え、外へ



草木や咲く花を見たり、田んぼの様子を見たり



↑この日(6月26日(日))は、陽だまり裏側の道へ

途中、野生化した紫陽花が咲き、綺麗だったので、暫し眺めてから帰りました。

少し心地いい風が吹く日で、利用者のお一人が、向かい風が顔に当たり、「ああ..私こうゆうの好きや」と言われるのを聞いた隣の人が、「そやな、気持ちいいな」とお返事。同行した職員3人で気持ち良い時間を共有して戻りました。

生活の様子

(令和4年1月~6月まで)



共同生活、できる限りのお手伝いをいたします。